

テーマ01 久喜市の魅力を再発見しよう

久喜市の好きなところ・良いところは？

- 交通の利便性が良く、モラージュ菖蒲など楽しめる場所が多い。
- 落ち着いた雰囲気で、雰囲気が好き。住みやすい。

久喜市のもう一息と思うところは？

- 娯楽が偏っている。
- 良い具合に田舎であることが良いところでもあるが、専用のスポーツ施設（野球、陸上等）がない。

住み続けてもらうためには？

- 治安が良いこと。今の治安を保てれば住み続けたいと思える。
- 住み続けてもらうのも大切だが、子育てに適した環境や住みやすさを向上できれば、久喜市を一度、出てしまっても、戻ってきたいと思う人が増えると思う。

テーマ02 「健幸・スポーツ都市」宣言 久喜マラソン大会を盛り上げよう

大会に参加しない理由は？

- 走ることに、特に長距離自体が好きじゃない。
- 速く走った方が偉いみたいなイメージが先行してしまう。
- 足が速い人のための大会だと思っている。

どうしたら盛り上がる？

- フランスでは、給水ポイントでワインが出ると聞いたことがある。マラソンが好きではない人も、参加したい、沿道で応援するのが楽しいと思えるような大会にできると良い。
- 久喜市がマラソン大会の開催地として魅力的な場所であること。
- 地元の人たちと交流できるワークショップを開く。

効果的なPR方法は？

- 他のマラソン大会と比べて、例えば、参加費が安いといったメリットをもっとアピールすると良い。
- 身近な人の意見は有益で、信憑性があって、面白いと感じるポイントなので、ポスター等でPRするときに、参加者の声（感想）を入れると良い。

テーマ03 学校を活用しよう

廃校した学校の活用方法やアイデアは？

- 学校は、地域住民が子供のころに通っていた場所・建物という意味で、ある種シンボルで特別な意味を持っていると思う。地域住民の交流が図れるようなイベントを大規模で開催するときに利用した方が良い。
- 学校は「学ぶ場所」なので、Wi-Fiを完備して、自習室にするのが良い。または、アイドルやアーティストが企画のために学校を使うことがあるので、スタジオのように貸し出すのも良いと思う。
- 学校は入るだけでもワクワクするので、学校を売りにしたカフェや居酒屋やレストランにするのも良いと思う。

義務教育学校

（仮称）久喜市立鷲宮西小中学校への意見

- 小学校から中学校にあがるとき、学業の前に友達ができるか不安になるので、同じ顔ぶれで勉強できるという面では、一つの不安要素を取り除くことができると思う。

- 9年間同じメンバーで過ごすことのデメリットとして、社会に出たときに、今まで通用していたルールや文化が違う、或いは、関わる人数が急激に増えることで、社会に適応できなくなるのが考えられる。人とのコミュニケーション能力が育ちにくい。実際に統廃合により、新しい学校になったとき、今まで同じ学級で人数が少なかったのに、急に増えたため、不登校になってしまった生徒がいると聞いたことがある。なので、小学校から中学校、或いは学年が上がる節目で、ある程度変わらないと厳しいと思う。

テーマ04 選挙に参加し、意見を届けよう

若い世代が選挙に関心を持つ、投票にいくためには？

- 長い目で見ると教育が必要だと考えている。選挙がいつあるのか、どういう人たちが立候補しているのかというような内容を伝えるオンライン活動を増やすことが重要だと思う。

- 選挙に合わせて同窓会など違う目的を作り、少しでも足が軽くなるようなことを用いるのは、有りかと思う。
- 選挙に行かない人の対応策として、付加価値をつけるのは、現実的だと思う。ドイツだと投票会場の前で屋台が出て、ビールを売っている。屋台でも、割引券でも、商品券でも何でも良いが、付加価値をつけて人を呼ぶのは、とりあえずできる策の一つだと思う。

若い世代が選挙に行かない理由は？

- 日本では、義務教育や家族間では政治の話はあまりしないため、投票できる年齢になったときに、何を調べ、どんな視点を持って投票するべき人を選べばいいのか分からず、投票に行かないことによるデメリットを感じていないからだと思う。例えば、選挙のポラントピアの対象年齢を中学生や高校生に引き下げて、選挙に興味を持ってもらう、長期的に興味を持ってもらえるような取り組みがあったら、選挙に行く意義を自分で見出すきっかけになるのかなと思う。

